

平成 29 年度事業報告

1 調査研究事業

(1) 調査研究活動

① 教育課程と外部講師の実施する森林環境教育の連携に関する調査

(助成者) (公社)国土緑化推進機構

(期 間) 平成 28 年 7 月～平成 29 年 6 月

(概 要) 外部講師が実施する森林環境教育が教師から信頼される内容となるように、教育課程や教科書と関連性を持たせた授業を
実践していくために必要な手法について調査、検討を実施。

② 森林レクリエーション資源を活用した山村と都市との交流に関する調査

(助成者) (公社)国土緑化推進機構

(期 間) 平成 29 年 7 月～平成 30 年 6 月

(概 要) 「明日の日本を支える観光ビジョン」を踏まえ、観光による地域振興が課題となっている中、森林は山村地域の重要なレクリエーション資源であり、これらを活用した新たな山村と都市との交流促進策について調査、検討を実施。

(2) 参考図書が発行・普及

新しく「アクティブ・ラーニング 森林環境教育 小学校で活躍するための基礎知識」を刊行するとともに、既刊の「入門編 森で行う園外保育 森のようちえん」、「小学校で役立つ自然とみどりのアクティビティ集」、「『森のようちえん』アクティビティ集」、「みぢかな里山のアクティビティ集—体験活動マニュアル—」、「森林・林業体験の基礎」、「森林環境教育の手引き」、「森林体験活動指導者のための安全管理ハンドブック」、「林業・山村から学ぶ続森林環境教育アクティビティ集」、「絵で見るもりのマナーと安全」等の普及に努めた。

また、「森林インストラクター養成講習テキスト 改訂 5 版」を刊行した。

2 普及啓発事業

(1) 機関誌（情報誌）の発行等

機関誌（情報誌）「森林レクリエーション」を毎月発行し、会員をはじめ都道府県、森林管理局・署、関係団体等に配布（No.359(2017年4月)～No.368(2018年1月)、各号810～870部）。

(機関誌（情報誌）の主な掲載テーマ)

- ① 森林レクリエーション活動に関する情報
 - 国立公園満喫プロジェクト（No.359）
 - 持続可能なレクリエーション ヨーロッパ編(1, 2, 3)（No.361, 362, 363）
 - 森を歩く喜び—ドイツの森林レクリエーション—（No.363）
- ② 森林環境教育・健康等に関する情報
 - 〈連載〉森林と健康—森林浴、森林療法のいま—
(No.364, 365, 366, 367, 368, 369, 370)
 - 第29回森林レクリエーション地域美化活動コンクール受賞団体の活動（No.364, 365, 366）
- ③ 森林を活用した地域振興等に関する情報
 - 薪ストーブと薪利用の魅力（No. 359）
 - 携帯電話・スマートフォンの運用データを活用した人口統計「モバイル空間統計」による地域振興への貢献（No.360）
 - 伊豆土肥桜と河津桜（No.360）
 - わがまち おかえりなさい 心のふるさと五ヶ瀬町（宮崎県五ヶ瀬町）
(No.361)
 - わがまち 「水と森の番人」が迎える、癒しの里（静岡県川根本町）
(No.365)
 - わがまち 自然を活かした観光資源（群馬県東吾妻町）（No.370）
- ④ 森林・林業に関する行政等の情報
 - 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産推薦について（No.362）
 - 平成28年度森林・林業白書の公表（No.363）
 - 平成30年度林野庁予算（概算決定）から（No.369）

⑤ 当協会に関する情報

- 第5回親子スキー・スノーボード教室 in 田沢湖の開催（秋田支部）
(No.359)
- 第62回理事会の開催（平成29年度事業計画）(No.359)
- 第29回森林レクリエーション地域美化活動コンクール受賞団体の決定・プロフィール (No.360, 361)
- 第33回通常総会の開催 (No.362)
- 「山の日」記念行事 失われた緑。よみがえる足尾は今！ 足尾森林再生地域見学と記念講演の開催 (No.364)
- 平成29年度森林インストラクター資格試験合格者の発表 (No. 368)
- 第31回森林レクリエーション全国研修 (No.369)
- 平成30年度森林インストラクター「資格試験」・「養成講習」の日程等

(2) 会員への情報提供等

森林のレクリエーション利用等に関する各種情報（関連情報）の収集を行うとともに、会員のメーリングリストを整備し、会員への情報提供を行った。

また、協会関連ホームページ（URL：<http://www.shinrinreku.jp>）の適時の更新・充実に努めた。

(3) 第30回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」の実施（旧森林レクリエーション地域美化活動コンクール）

昭和63年度から「森林レクリエーション地域美化活動コンクール」として実施してきたが、表彰の対象となる活動の明確化、審査基準の見直し及びコンクールの名称の変更等を行い、森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」として実施した。

応募総数43団体（都道府県推薦27件、森林管理局推薦19件）について、審査委員会による審査の結果、次の受賞団体を決定。

- 農林水産大臣賞(1点)
特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ（長野県飯山市）
- 林野庁長官賞(2点)
野幌森クラブ（北海道札幌市）
特定非営利活動法人 三島フォレストクラブ（静岡県三島市）

○ 協会会長賞（7点）

特定非営利活動法人 森のこだま（北海道津別町）
太白山ふれあいの森協力会（宮城県仙台市）
群馬県中之条町立六合中学校（群馬県中之条町）
森林インストラクター東京会（東京都八王子市）
特定非営利活動法人 甘利山倶楽部（山梨県韮崎市）
特定非営利活動法人 森倶楽部21（長野県松本市）
特定非営利活動法人 養生の郷（鳥取県倉吉市）

○ 奨励賞（5点）

権現森自然研究会（宮城県仙台市）
成沢グリーンフィールド協力隊（山形県山形市）
富山森のこども園（富山県富山市）
坂崎区有林管理委員会（愛知県幸田町）
松尾桜会（愛媛県今治市）

(4) 第31回森林レクリエーション全国研修会の開催

テーマ 「栗駒自然休養林を巡る」

開催時期 平成29年9月21日(木)～22日(金)

開催場所 秋田県東成瀬村

参加人員 33人

研修内容 栗駒自然休養林及び周辺森林レクリエーション関連施設などの視察等

(5) 「山の日」記念事業の実施

平成29年8月4日（金）に「山の日」記念行事として、一般財団法人日本森林林業振興会及び一般社団法人日本森林インストラクター協会との共催により、「失われた緑。よみがえる足尾は今！」と題し、足尾森林再生地域の見学会と太田猛彦東京大学名誉教授による記念講演を実施した。見学会及び記念講演には、公募による一般参加者、スタッフ等約80名が参加した。

(6) わたしの美しい森フォトコンテスト

林野庁が主体となって実施する「わたしの美しい森フォトコンテスト」の実行委員会に参加し、事務局を担当した。

(7) 森林環境教育ネットワーク事業

平成 19～21 年度に実施した森林環境教育推進総合対策事業（林野庁補助事業）の実施結果を受けて、引き続き森林環境教育の推進に資するため、活動団体等のネットワーク化を図るためのウェブサイトの運営、メールマガジンの配信、パンフレットの配布等の普及啓発活動を実施。

① ウェブサイト「森で学ぼう!! 森林環境教育ネットワーク」の運営

URL : <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

② メールマガジンの配信（会員登録数：1,021）

第 171 号(平成 29 年 4 月 5 日)～第 188 号(平成 30 年 3 月 16 日)

(8) 子ども樹木博士認定活動への支援

子ども樹木博士認定活動の目的等を PRするとともに、情報交流等により本活動を全国的に推進する「子ども樹木博士認定活動推進協議会」の事務局として、

① 機関誌「子ども樹木博士ニュース」の発行(年 4 回、各回 850～900 部)

② 子ども樹木博士認定証や「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の提供

③ 実施団体や活動記録等の整理・取りまとめ

④ 資料の配布やインストラクターの紹介

⑤ 子ども樹木博士リーダー等交流会の実施（平成 29 年 6 月 18 日）

等の活動を実施。

(9) 「森林共生フォーラム」の活動への支援

森林と人との共生に関する総合的な調査研究、情報の収集・提供、研修会等を行う「森林共生フォーラム」の事務局として、研究会(4 回)や現地研修会(1 回)の開催等の活動を実施。

森林共生フォーラム：平成 29 年度の活動状況

研究会等の開催	テーマ・講師等
第 1 回研究会 (3 月 2 日)	「林産物に関する TPP 大筋合意の概要と林業・木材産業分野における TPP 対策」 講師 林野庁林政部木材産業課長 小島 孝文 氏
第 2 回研究会 (6 月 28 日)	①「平成 28 年度森林・林業白書について」 講師 林野庁林政部企画課課長補佐（年次報告班担当） 寺村 智 氏 ②「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の世界自然遺産への推薦について」 講師 林野庁国有林野部経営企画課国有林野生態系保全室長 崎野 健輔 氏
現地研修会 (9 月 21 日～22 日)	開催場所 秋田県東成瀬村 「栗駒自然休養林を巡る」 (第 31 回森林レクリエーション全国研修会に合わせて開催)
第 3 回研究会 (10 月 11 日)	①「農山村と若者をつなげて歩んだ 24 年」 講師 若者と地域を結ぶコーディネーター (前 NPO 法人地球緑化センター専務理事) 金井 久美子 氏 ②「森林環境税(仮称)の検討状況について」 講師 林野庁森林整備部計画課調査官 長崎屋 圭太 氏
第 4 回研究会 (12 月 20 日)	①「森林と健康を考える」 講師 東京農業大学教授 上原 巖 氏 ②「流木災害等に対する治山対策の取組」 講師 林野庁森林整備部治山課長 猪島 康浩 氏

(10) 他団体主催行事への後援等

- ① 第 27 回森と花の祭典・みどりの感謝祭（協賛）
平成 29 年 5 月 13 日・14 日（イイノホール及び東京都立日比谷公園）
- ② 農林水産省「消費者の部屋」特別展示「国有林野で学び、遊ぼう」（協力）
平成 29 年 11 月 6 日～11 月 10 日（農林水産省）

- ③ 平成 29 年度学校の森・子どもサミット（実行委員会への参加）
（愛知県豊田市及び三重県大台町）
- ④ 平成 29 年度国有林野事業業務研究発表会（協会会長賞の授与）
平成 29 年 11 月 30 日（林野庁）
○ 一般社団法人全国森林レクリエーション協会会長賞
（森林ふれあい部門）
課題名 将来の森林づくりを担う人材の育成への貢献
—森林・林業教育支援プログラムの取組—
受賞者 北海道森林管理局十勝西部森林管理署 片山 洸彰 氏
竹部 修二 氏
- ⑤ 第 3 回木育・森育楽会（後援）
平成 29 年 12 月 3 日（みやざきアートセンター）
- ⑥ IZU TRAIL Journey2017（後援）
平成 29 年 12 月 9 日～10 日（松崎町松崎～伊豆市修善寺温泉）

3 森林インストラクター等人材育成事業

(1) 森林インストラクター養成講習の実施

森林インストラクターの資格試験を受けようとする者の知識や技能の水準の向上を図るため、「森林」、「林業」、「森林内の野外活動」及び「安全及び教育」の全4科目について講習を実施。講習修了者は、申請により「森林活動ガイド」として登録。

平成29年度の実施状況は次のとおり。

- ① 養成講習の公募案内の開始（平成29年3月1日）
- ② 養成講習受講者の募集開始（平成29年4月1日）
- ③ 養成講習の実施

区分	科目	期間	日数	場所	受講者数
講習Ⅰ (科目別講習)	森林	5.13～5.15	3	東京都文京区 林野会館	66人
	野外活動等	5.27～5.29	3		58人
	林業	6.17～6.18	2		66人
講習Ⅱ (全科目講習)	4科目	8.12～8.19	8		71人

(2) 森林活動ガイド養成事業

自然体験活動の指導者の確保が求められている中で、森林体験活動の指導者・パートナーである「森林活動ガイド」を養成。森林インストラクターの養成講習に併せた講習会を実施。

○ 森林インストラクター養成講習に併せた講習会

森林インストラクター養成講習において森林活動ガイド養成講習の内容を盛り込んで実施。

- ① 平成29年5月13日～6月18日（うち8日間） 受講者数45人
- ② 平成29年8月12日～19日 受講者数72人

4 森林インストラクター資格認定事業

平成 29 年度森林インストラクター資格試験の受験申込者数は 443 人（前年度 366 人）、合格者数は 119 人（同 79 人）で、平成 3 年度からの合格者数の累計は 4,178 人。合格者には、登録により「森林インストラクター」の称号を付与。

平成 29 年度の実施状況は次のとおり。

- ① 資格試験の公募案内の開始（平成 29 年 3 月 1 日）
- ② 資格試験受験者の募集開始（平成 29 年 6 月 1 日）
- ③ 一次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	申込者数
10 月 1 日	札幌市	北海道経済センター	12 人
	仙台市	ショーケー本館ビル	28 人
	東京都	青山学院大学	227 人
	名古屋市	東海工業専門学校金山校	43 人
	大阪市	天満研修センター	91 人
	高知市	高知会館	15 人
	福岡市	電気ビル本館	27 人

- ④ 二次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	受験者数
11 月 25～26 日	東京都	林野会館	121 人

- ⑤ 合格者の審査・決定（平成 29 年 12 月 7 日）
- ⑥ 合格者の公表・登録開始（平成 29 年 12 月 15 日）
- ⑦ 平成 29 年度の登録更新の開始（平成 29 年 11 月）

5 支部総会等の開催

支部総会・研修会等の開催状況

支部名等	開催日	開催地等	本部出席者
道 央	29年9月7日	北海道札幌市	沼田理事長
旭 川	29年6月23日	北海道旭川市	木下専務理事
帯 広	29年7月6日	北海道足寄町	沼田理事長
函 館	29年8月8日	北海道厚沢部町	沼田理事長
青 森 (研修会)	29年12月18～19日	青森県弘前市	木下専務理事
秋 田 (研修会)	29年12月18～19日	青森県弘前市	木下専務理事
前 橋 (研修会)	29年9月6日	群馬県前橋市	木下専務理事
	29年10月25日	新潟県魚沼市	
東 京	29年7月11日	東京都江東区	沼田理事長
長 野	29年6月28日	長野県長野市	沼田理事長
名古屋	29年7月13日	愛知県名古屋市	木下専務理事
四 国 (研修会)	30年2月15日	愛媛県内子町	沼田理事長
賛助会員 研修会等	28年6月24日等	東京（森林共生フォーラム「研究会」への参加等）	

(注) 青森支部と秋田支部の研修会は合同で開催

6 陳情・要請等の活動

支部を通じた要望事項や会員等からの照会事項について、林野庁等関係機関へ要請・照会等を実施。

7 会員組織の状況

(1) 平成 29 年度における会員数の異動状況

区 分	平成 28 年度末	入 会	退 会 等	平成 29 年度末
正 会 員	224	1	1	224
賛助会員	15	1	-	16
合 計	239	2	1	240

[入会] 佐呂間町（北見支部）、大日本土木(株)栃木営業所（賛助会員）

[退会] 緑風観光(株)（帯広支部）

(2) 平成 29 年度末における支部等別会員数

区 分		市 町 村	事 業 体	計
正 会 員	道 央 支 部	8	6	14
	旭 川 支 部	10	8	18
	北 見 支 部	8	1	9
	帯 広 支 部	6	2	8
	函 館 支 部	16	8	24
	青 森 支 部	20	9	29
	秋 田 支 部	11	8	19
	前 橋 支 部	13	23	36
	東 京 支 部	8	9	17
	長 野 支 部	7	5	12
	名 古 屋 支 部	5	1	6
	四 国 支 部	10	6	16
	九 州 支 部	10	2	12
	本 部	1	3	4
	小 計	133	91	224
賛 助 会 員		-	16	16
合 計		133	107	240